

[2014年8月18日]

米諮問委、65歳以上への13価結合型肺炎球菌ワクチンの定期接種を推奨

米国予防接種諮問委員会（ACIP）は、65歳以上の成人に対する13価結合型肺炎球菌ワクチン（PCV13、商品名プレベナー13）の定期接種（routine use）の推奨を決定した模様。PCV13を販売する米Pfizerが発表した。

PCV13→PPSV23の「2回打ち」を推奨、2018年に再評価

Pfizerのリリースによると、今回、ACIPにおける投票で推奨が決まったのは、65歳以上の成人に対するPCV13の定期接種と以下の点。

- ▶ 肺炎球菌ワクチン未接種あるいは接種歴不明の65歳以上の成人に対し初回接種としてPCV13を1回、続いて23価肺炎球菌多糖体ワクチン（PPSV23）を1回接種する
- ▶ PCV13の接種歴がなく、過去にPPSV23の1～2回の接種歴がある場合PCV13を1回追加接種する
- ▶ 65歳以上*の成人へのPCV13定期接種については2018年に再評価を行い必要に応じ変更を行う
（* ACIPおよびCDC長官の承認が得られた場合）

ACIPの今年の予防接種スケジュールでは現在、過去の接種歴や罹患歴がない65歳以上の全成人へのPPSV23の1回接種が推奨されている他、基礎疾患や職業上の危険因子を有する成人のPCV13またはPPSV23接種が推奨されている。

同社は「現在、50歳以上の米国成人のうち、年間約44万人が肺炎球菌性肺炎に罹患し、年間2万5,000件の肺炎球菌性疾患に関連した死亡が報告されている」と述べており、65歳以上への同ワクチン定期接種によりワクチンがカバーする13の血清型による肺炎球菌性肺炎を予防し、重要な公衆衛生上のベネフィットをもたらす可能性がある」と期待を示している。

過去の会議では「PPSV23とPCV13、1つ選ぶとしたらどちら…？」

今回の成人へのPCV13定期接種の導入にはACIPでどのような議論があったのだろうか。ACIPのリエゾン組織である米国家家庭医学会（AAFP）の今年7月の公式ニュースによると、会議では「PPSV23とPCV13のどちらか1つを選ぶ必要がある場合、どちらを選択するのか」という質問も出たようだ。

会議に出席したAAFPの代表者は「カバーする血清型の多いPPSV23を先に選べば、数年後にワクチンの効果が減弱した際に、再び肺炎に罹患するリスクが高まるのが問題となる。一方PCV13を選んだ場合、効果持続期間は長い代わりに、PPSV23でカバーされる侵襲性感染症の原因となる2～3の血清型を含む、より多くの血清型に対する防御効果は得られなくなる」と指摘。

完璧な世界を目指すのであれば、医師は1年間隔で両方のワクチンを接種するだろうが、医療保険上の問題（メディケ

アは現時点で肺炎球菌ワクチン1回のみには保険償還を認めている）があると当時のニュースは伝えている。

日本では？

なお、日本では今年6月PCV13の65歳以上の成人への接種が追加承認（[関連記事](#)）。今年10月からはPPSV23接種歴のない65歳から5歳おきの成人などへの定期接種が開始予定で5年後の2019年頃に再評価される見通しとなっている。成人へのPCV13の定期接種化については今後検討される予定（[関連記事](#)）。

（坂口 恵）

この記事に対するご意見・お問い合わせは、mt@medical-tribune.co.jp までお願いします。

関連記事

- ▶ [13価肺炎球菌結合体ワクチンの高齢者への定期接種化の是非を審議／第10回予防接種基本方針部会](#) [2014年7月17日]
- ▶ [13価結合型肺炎球菌ワクチン、65歳以上にも接種可能に](#) [2014年6月24日]
- ▶ [今年10月からの水痘、23価肺炎球菌ワクチンの定期接種開始を了承／第4回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会](#) [2014年1月16日]

関連リンク

- ▶ [Advisory Committee on Immunization Practices Votes to Recommend Pfizer's Prevnar 13® Vaccine in Adults Aged 65 Years and Older](#)（米Pfizer公式サイト、2014年8月13日のリリース）
- ▶ [ACIP Recommends LAIV for Young Children/ Committee Discusses Pneumococcal Vaccines, HPV Vaccine Schedules](#)（AAFP公式サイト、7月2日のニュース）
- ▶ [Recommended Adult Immunization Schedule, by Vaccine and Age Group United States, 2014](#)（CDC公式サイト、2014年8月15日のアクセスによる情報）

 [TOPページに戻る](#)